



2月2日 GRIPSセミナー

「サイバーセキュリティー産業化：日本の課題とイスラエルの動向」  
参加企業プロフィールと、面談を希望される企業の方々へのご案内

- ✓ Adalom, Inc
  - ✓ Argus Cyber Security Ltd
  - ✓ CyberArk Software Ltd
  - ✓ GreenSQL Inc
  - ✓ RADiFlow Inc
- 
-

## Adallom, Inc.

2012年創業。クラウド上のアプリケーションのセキュリティを提供する。その利便性から多くのビジネスデータがSalesforce、Office365、AWSなどのクラウドサービスへ移行すると予測されるが、これらのサービスとPC・スマートフォンを組み合わせたシステムの安全を維持するためには新しいセキュリティ体系が求められる。アプリケーションの稼動状況分析、ユーザーアカウントの監視、不適切なデバイスへの重要情報流出の防止、社内秘密情報の共有管理、不適切なデータ読み取りの特定などをシームレスなプラットフォーム上で提供する。CEOはAssaf Rappaport氏。



## Argus Cyber Security Ltd.

2013年創業。車両向けサイバーセキュリティシステムの開発と事業化を目指す。自動車の外部ネットワークとの接続により、テレマティクス、ナビゲーション、音楽やビデオのストリーミング、遠隔操作など新しい機能とサービスが可能となり、コネクテッドカーの普及台数急増が予想される。同時に車載コンピュータへの不法侵入・ハッキングの脅威の拡大と広域化のリスクが高まることも予想される。同社は、このようなセキュリティとそのリスクを管理するソリューションを提供する。セキュリティサーバーとそれに接続された車載ソフトウェアモジュールを組み合わせ、車載システムへの不法侵入・乗っ取りの試みの検出、新たな脅威の即時分析と対策の配布、地域やモデル全体といった大規模な範囲でのセキュリティ状況のモニタリング等のサービス提供、そして車両設計段階のセキュリティを分析・開発する技術コンサルティング等を行う。CEOはOfer Ben-Noon氏。



## CyberArk Software, Ltd.

1999年創業。エンタープライズ向けのセキュリティプラットフォームを提供する。特許を取得したネットワーク金庫室(vault)技術に基づくデータリポジトリ(商品名:The Digital Vault)を基礎に、特権アカウント保護や安全な情報共有(SSHキーセキュリティによりウェブ、デスクトップ、モバイル、メールをサポート)などを、包括的なソリューションとしてオンプレミスとクラウドの両方に提供する。特権アカウントはITシステムへの「鍵」であり、この重要要素の保護・管理は、不法侵入を入口で防いで産業制御システムや重要なビジネスデータを攻撃から守るために不可欠な技術である。Fortune100の企業の35%以上、世界トップ 20 の銀行中 17 行、また邦銀も数行が同社の製品を採用している。2014年9月NASDAQ上場。CEOはUdi Mokady氏。



## GreenSQL, Inc.

2009年創業。データベース・セキュリティ・ソリューション(MSSQLとMySQLに互換)を提供する。SQLスクリプトをスクリーニングしてSQLインジェクション攻撃をブロック。データベースへのアクセスとその稼動状況の監視し、不正規アクセスを検出、阻止する。クラウドプラットフォームにも対応する。世界198カ国のゲーム、教育、ヘルスケア、政府、金融機関などの分野の企業に製品が採用されている。CEOはAmir Sadeh氏。



## RADiFlow Inc.

2009年創業。生産工程・インフラ・設備などのミッションクリティカルなインフラ分野でのイーサネット活用の拡がり、それに伴ってサイバーセキュリティ脅威リスクが高まっている。同社は、システム監視とプロセス制御をコンピュータで行うためのSCADA(Supervisory Control And Data Acquisition)と複数のコンピュータでインターネット接続を共有するICS機能を備えた産業用途イーサネットスイッチを商品化しており、スマートグリッド、発電・変電所間通信、スマートシティなどへセキュアなネット通信を提供する。モジュラー構造とマルチサービスアーキテクチャーによりリーズナブルなコストとインストール工数、レガシー機器との共存から将来のプロトコルまでを柔軟にカバーする。CEOは、Ilan Barda氏。



～面談ご希望の企業の方々へ～

コランダム・イノベーションは今回のシンポジウムを共催するにあたり、招聘するスタートUP企業・起業家の選定と交渉を行って参りました。来日各企業との面談をご希望の場合は、弊社にてコーディネートさせていただきますので、[info@corundum.bz](mailto:info@corundum.bz)までご連絡をよろしくお願い申し上げます。調整の上、担当(岡本・竹内)より連絡させていただきます。